

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

○調査の目的

児童生徒の体力や生活習慣、食習慣、運動習慣の状況を把握し、体育・健康に関する指導の改善等に役立つ。

○調査期間

令和3年5月～7月

○調査の内容

1 実技に関する調査

○調査の対象

小学校(義務教育学校)5年生男子・女子

中学校(義務教育学校)2年生(8年生)男子・女子

体力テスト種目	単位	体力要素	測定
握力	kg	筋力	左右握力の平均値
上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30秒間で上体を起こした回数
長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離
反復横跳び	点	敏捷性	20秒間に両足で左右側方に反復跳躍した回数
20mシャトルラン(小学生)	回	全身持久力	20m走行の折り返し回数
持久走(中学生)	秒	全身持久力・長距離走能力	男子1500m、女子1000mの走行時間
50m走	秒	疾走能力	50mの疾走時間
立ち幅跳び	cm	筋パワー・跳躍能力	両足で前方へ跳躍した直線距離
ソフトボール投げ(小学生)	m	巧緻性・投球能力	ソフトボール1号球を遠投した距離
ハンドボール投げ(中学生)	m	巧緻性・投球能力	ハンドボール2号球を遠投した距離

2 質問紙調査

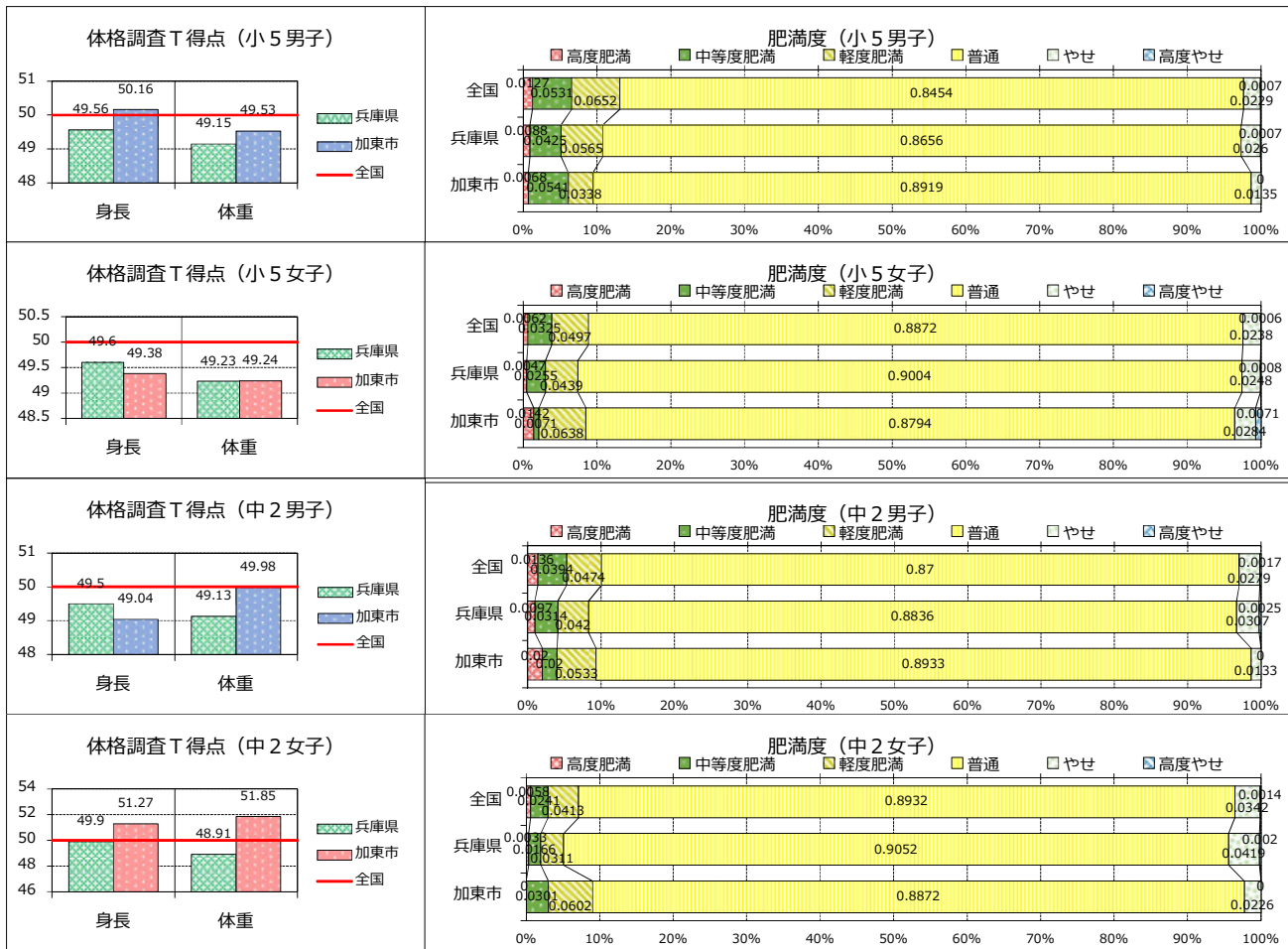
- ・運動に対する意識に関する質問(3問)
- ・生活習慣に関する質問(3問)
- ・オリンピック・パラリンピックに関する質問(1問)
- ・授業外の運動習慣に関する質問(3問)
- ・目標意識や自己肯定感などの意識に関する質問(4問)
- ・新型コロナウイルス感染症による影響に関する質問(1問)
- ・体育・保健体育の授業に関する質問(4問)

○調査の結果

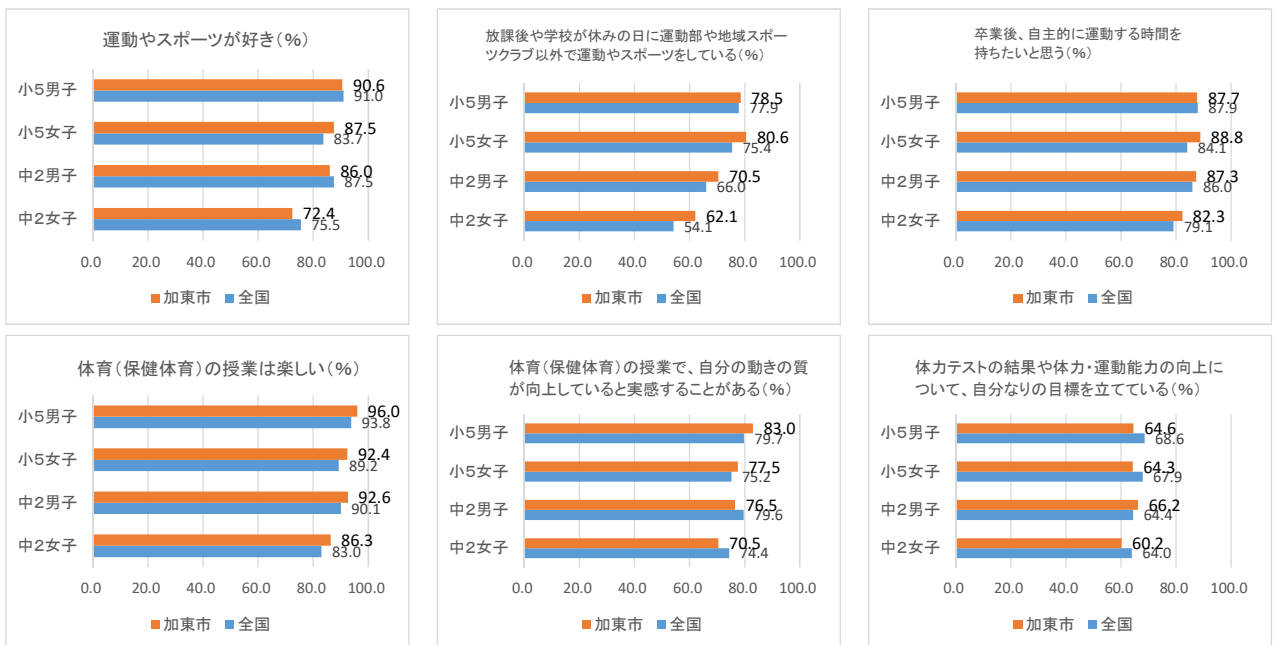
1 実技に関する調査結果 ※全国平均値を100とし、全国平均値との差が±0.0～5.0の場合は「同程度」、±5.1～の場合は「高い(低い)」とする。



2 肥満傾向児・痩身(やせ)傾向児の出現率



3 質問紙調査結果



(概要)

全国平均と比較して、加東市では、「運動やスポーツが好き」と回答した児童生徒は同程度であるが、小学生女子のみ高い。「放課後や学校が休みの日に運動部や地域スポーツクラブ以外で運動やスポーツをしている」と回答した児童生徒はどの対象群も高く、「卒業後、自主的に運動する時間を持ちたいと思う」と回答した児童生徒も小学生男子以外高い。「体育の授業は楽しい」と回答した児童生徒はどの対象群も高い。「体育の授業で自分の動きの質が向上していると実感することがある」では、中学生で全国より低い。「体カテストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている」では、全国より低い。

○ 体力・運動能力向上に向けた主な取組

- ・こどもの体力向上推進事業 ・体力・運動能力テストの全学年実施(小・中学校) ・水泳進級カードの活用と泳力の向上(小学校)
- ・中学校新人体育大会・総合体育大会 ・中学校スキー教室(中学1年生) ・部活動指導員配置・部活動外部指導者派遣事業